THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA HATSUKAICHI

広島廿日市ロータリークラブ 会報

2018年 11・12月号 No.417

◆◆◆ 本年度会長方針 ◆◆◆

「五感を澄まして一歩前へ」

例会日／毎週月曜日 12:30～13:30
例会場／広島サンプラザ　TEL (082) 278-5000
会　長／川口　哲司　　幹事／上杉　昌幸

事務局
〒738-0015 広島県廿日市市本町５番１号
廿日市市商工保健会館 4F
TEL（0829）31-5490　FAX（0829）31-5491
E-mail ／ office20@h-hrc.com
URL ／ http://www.h-hrc.com/

第 996 回　広島サンプラザ　2018年11月５日

会長時間

会長　**川口　哲司**

誕生祝

卓　話

「ガバナー卓話」

国際ロータリー第2710地区
ガバナー　**吉原　久司**　様

クラブフォーラム

第 997 回　北京料理　桂蘭　2018年11月12日

夜間例会

第 998 回　広島サンプラザ　2018年11月26日

会長時間

理事会報告

幹事　**上杉　昌幸**

卓　話

「企業を強くした正しい
事業継承をするために」

エフピーステージ（株）代表取締役　**五島　　聡**　様

第 999 回　広島サンプラザ　2018年12月３日

会長時間

会長　**川口　哲司**

誕生祝

松田文雄ガバナー補佐

同好会報告
（四季折々の会　川﨑）

卓　話

「新会員自己紹介」

亀岡　優花　会員

第1000回　広島サンプラザ　2018年12月10日

会長時間

理事会報告

幹事　上杉　昌幸

卓　話

「年次総会」
「廿日市市における奉仕活動の考察」

石塚　宏信　会員

第1000回例会平成30年最後の12月10日月曜日ついに1000回を迎える記念すべき日に会員の皆様の貴重な時間を頂き、卓話をさせていただき感謝申し上げます。

本来のテーマはロータリーの基本にある社会奉仕＝ボランティア活動をメインに話をさせていただこうと思っていましたが、私の１番重要な仕事、廿日市市議会議員として議会での審査、12月議会中でした。初めに廿日市市民の生活にかかわる大事な29年度決算、30年度予算の話を少しだけ聞いてもらうつもりが長くなり迷惑をかけてしまいました。

特に廿日市市の財政29年30年31年は基金（貯金）の取り崩し、市債（臨時財政対策債含む）＝赤字地方債や民間でいう借金や債務負担、最終的には地方財政（廿日市市）の経常収支比率が非常に高くなっている。80％以上要注意、90％以上危険、（廿日市市97～96％）財政の硬直化が続いています。なんとか通常に戻ってほしいと願うばかりです。

肝心な奉仕の話アダプト制度、本来行政が維持管理する道（市道、県道）、公園、広場、河川を企業や市民団体などのボランティア（奉仕活動）に場所を指定して環境美化（清掃）に取り組んでいただく仕組みです。「里親、養子縁組」という英語の意味があります。

今後、広島廿日市ロータリークラブの新しい年の事業にぜひとも取り組みを期待申し上げます。

第1001回　シェラトングランドホテル広島 2018年12月21日

クリスマス家族同伴夜間例会

皆さんこんばんは。会長の川口です。

７月からスタートして６ヶ月経過し、今年最後の例会となりました。半年を振り返って見ますと17回の例会中、夜間例会が４回でした。７月９日のカープナイターは中止。再試合として９月20日に試合はありましたが、あいにくの雨模様で一時中断もあり24時３分に試合終了。試合の結果は残念ながらカープの負けでした。

７月21日のクヴェーレ吉和で鮎づくしの会食もありました。

10月20日、21日は会員10名が尾道での第2710地区2018－2019年度地区大会へ参加しました。

10月27日は熊本でゆうほRCC森田会長、植村副会長、大藤RCC委員長でゆうほRCCの設立経過活動状況等の発表をして来ました。特に、人形を使った腹話術には大変興味を持たれました。

11月５日は吉原ガバナーの公式訪問、クラブフォーラムも開催されました。

12月10日は記念すべき1,000回目の例会でした。

平成31年２月３日はRCC地区大会が待っています。関係者、委員の皆様よろしくお願いします。

今夜は平成最後の夜間例会です。美味しい食事も、お酒も楽しんで懇親を深めてください。

新しい亥の年では更に一歩前進しましょう。

第989回　例会卓話　2018年9月3日

居住環境システムデザインと地域貢献

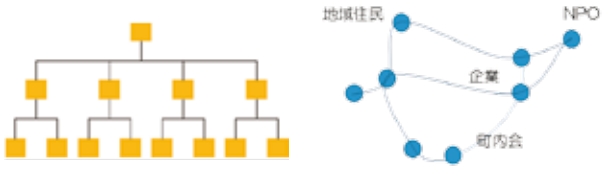
広島工業大学　平田　圭子　先生

■居住環境システムと地域貢献

広島工業大学の教育理念は、建学の精神「教育は愛なり」、教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」であり、これらの教育理念から「社会・環境・倫理」をベースに「社会に奉仕する」技術者の育成をめざしています。環境学部建築デザイン学科に所属する平田研究室も、専門の立場からゼミ生とともに「地域貢献」をしてきました。平田の研究分野は「インテリアから考える居住環境」であり、人を中心としたヒューマンスケールなサイズで居住環境をデザインすることを学び、実践しています。居住環境システムデザインの「システム」とは複数の構成要素が相互作用する集合体としてとらえ、地域に出てデザインしていくうえで複数の要素が相互作用をもたらすように狙っています。

■エリアリノベーションとゼミ活動

人を中心としたヒューマンスケールなサイズで居住環境をデザインすることは、「エリアリノベーション」の考え方と似ているところがあります。「エリアリノベーション」とは、馬場正尊氏＋OpenAが「エリアリノベーション　変化の構造とローカライズ」（学芸出版社）にて明らかにしていますが、地域資源を活かしてリノベーションを地域全体に広げていくネットワーク型の空間づくりです。つまり、今までは都市計画家、コンサルタントなどが計画し、それをゼネコンなどが作り地域住民がそこで生活をするのですが、エリアリノベーションは、地域住民が自分たちにあった場所や使い方を決めて作り出し、ネットワーク化していく、部分から全体へという構造をしています。



マスタープラン型の計画　　ネットワーク型の計画

例としては、岡山市問屋町、長野市善光寺門前、北九州市小倉・魚町、身近なところでは尾道市旧市街地が挙げられます。

平田研究室も佐伯区内を中心に小さなプロジェクトを重ねていき、その地域に関わる人や資源を結び付けウィンウィンになるような結果を目指し活動していっています。研究室のフィールドが主に佐伯区内なのは、広島工業大学と佐伯区が地域連携協力にあることと、自分たちの居場所でもあるからです。地域に学生が出ていくことは、大学内の座学・実習だけでは学べない多くのことを地域から学ばせてもらえます。

■佐伯区における平田研究室の活動

研究室で「HLab→」と活動団体名称を決めてから20年、学外で活動を始めて16年、平和大通りの「ドリミネーション」のオブジェ、「パーク＆ライド」のロゴ制作（広島都市圏パーク＆ライド推進協議会）、「守り砂」のアイデア（株式会社ソアラサービス、対馬デザイン事務所、大聖院）など広島県・市内でも活動もありますが、佐伯区内での活動で地域の住民を巻き込みながら活動した事例を１つ紹介させていただきます。

＜コイン通りのキャラクター＆大幟：「金色に染まる街ふたたび」H23年度広島市商売知恵出し事業補助金＞

「コイン通りまちづくり委員会」のメンバーとして2006年から平田が参加していた関係で、コイン通り商店街振興組合からコイン通りのキャラクターデザイン（着ぐるみ）を依頼されました。学生がデザインしたキャラクターが突然現れてもコイン通り商店街の地域住民に受け入れられるかどうか不明でしたので、地域住民を巻き込む仕組みづくりを下記のように学生と一緒に考えました。

A. 商店街のコンセプト「金持神に会える街」に基づいたキャラクターデザイン（着ぐるみ）の、地域住民（小学生～大学生、大人）参加によるコンペ・投票、イベントによるお披露目

B. 同コンセプトに基づいた、幟による可動式の景観形成装置の設置（祭事で使用）

この二つにて「H23年度広島市商売知恵出し事業補助金－市民団体等と商店街団体の協働事業－」に応募・採択され、実現しました。具体的には次のようなフローで行いました。

① コイン通り商店街のキャラクターデザイン（着ぐるみ）の募集を中国新聞などのメディアやチラシによって告知する。

② 集まったキャラクターデザイン30点から12点を事前に絞り込み、その12点を７月にコイン通りで開催される「土曜夜市」にて地域住民の投票により最優秀賞を決め、「土曜夜市」のステージ上で表彰式を行う。<写真左上>

③ キャラクターデザインが決まったコインちゃんのお披露目は、「佐伯区民まつり」で佐伯区長により紹介される。<写真右上>

④ 「佐伯区民まつり」の前夜に、コイン通りに設置されている縁起の良い干支の石像たちがコインちゃんのお祝いにコイン通りに設置されている金持ち神社にお参りに行くというストーリーをつくり、金箔にて干支の石像の足跡を歩道につける。

⑤ 祭事で使用する可動式の景観装置幟は、「縁」「長寿」「成功」「商売繁盛」「幸運」のテーマを持つ５本の幟で、シルク印刷の上に金箔を学生が貼りつけ、最後の一本はコインちゃんお披露目の「佐伯区民まつり」にて、地域住民の方にも金箔をはってもらう。<写真下>

コインちゃんも、大幟もコイン通り商店街に限らず佐伯区の祭りの時に今でも使われています。

活動報告

第10回カラオケ同好会
2018年11月19日
デュエット

出席者は、14名
松浦　ご夫妻、藤岡　ご夫妻
永井　ご夫妻、佐伯　ご夫妻
松野、河内、山根、石塚、植田、石原

11/19（月）カラオケ喫茶「デュエット」にて第10回カラオケ同好会を開催しました。

この度は、佐伯さんご夫妻の参加もあり14名となりました。美味しいお酒や食事に会話も弾み楽しい序盤でした。そして、その後は得点を争うカラオケへとなりました。

得点77点と最高得点には花束の景品もあり熱唱の連続でした。また、懐メロの曲も飛び出し皆で合唱しました。そして、77点は松野さんでした。最高得点は最後までもつれ、松浦さん（お父さん）が91点で優勝でした。あっという間に時間が経ち、最後に奥さんに花束をプレゼントされていている所を拝見させて頂き、さすがロータリーの大先輩だと感心しました。次回は１月の開催予定です。皆様の参加を心よりお待ちしております。

世話人　石原